

国家資格「キャリアコンサルタント」

きめ細かなサポートで高い実績

働き方改革などで職場環境が大きく変わる中、職業選択や能力開発について相談・助言を行う専門家「キャリアコンサルタント（略称「キャリアコン」）」が注目されている。日本産業カウンセラー協会関西支部の諮問篤子支部長と坂本充キャリア・カウンセラー部長に、キャリアコンの現状と将来性などを聞いた。



諮問篤子さん(左)と坂本充さん(右)

国は10万人養成目指す 多様化する職場に必要な

働き方改革が進む中、最低賃金のアップや定年後の再就職、女性の再雇用など職場の環境が大きく変わりつつある。一方、慢性的な人手不足から一人当たりの仕事量が増加し、正規・非正規労働者が混在する中で、様々な人間関係に悩み、転職を希望する人も増えている。

「キャリアコンサルタントはそうした進路や職業の選択、キャリアビジョン（将来の展望）などについて悩み相談者に寄り添い、十分な「傾聴力」によって、相談者自身が職業選択や職業能力開発などを効果的に行えるよう支援する専門家です」

キャリアコンは2016年4月より国家資格となったこと

活躍のフィールドがさらに拡大

から受験者が増え、登録者数も19年7月末現在、全国で4万4549人になっている。

「関西エリアでは全国の18.3%、約8100人が登録しています。厚生労働省は24年度末までに資格者を10万人にすることを目標しており、そのニーズは高まっています。今後、企業や教育機関、NPO法人など、その活動領域はますます広がっていくと思います」

人口減少時代に入り、企業では労働力の確保と残業抑制による生産性の向上が喫緊の課題だ。多様な働き方を可能とする組織づくりも期待せざるを得ない。キャリアコンによる丁寧なサポートと適切なアドバイスは社員との信頼関係を構築し、一人ひとりのモチベーションを高め、職場の雰囲気や方向性を変えることができる。

少人数での実習が特徴 7割給付の指定講座に

産業カウンセラーの養成に約60年の実績を持つ当協会では、03年からキャリアコンの養成にも取り組み、多くの有資格者を輩出してきた。

「当協会の養成講習は約1カ月のスターリング（実習および講義）とe-Learningによる在宅学習で、受講者一人ひとりの状況に応じてきめ細かく指導しています。実習は受講者6人に講師が1人付く少人数のグループ制で、国が定めた基準を上回っています。カウンセリングの基本は傾聴力ですが、長くメンタルヘルズ対策に関わってきた当協会だけに、コンサルティングへの豊富な知識と適切な判断力も、ともに養われるのが特徴です。生涯学習としてリカレント教育（学び直し）への関心も高まっており、様々な現場で役に立つ資格として取得を目指す人が増えています。本講習を修了すると、年3回実施の国家試験の受験資格が得られます」

このキャリアコンサルタント養成講習は国の「専門実践教育訓練給付金制度」の指定講座なので、最大7割が給付される。詳細については、近くのハローワーク（公共職業安定所）に問い合わせやすい。ほかにも受講料の割引特典や分割払いも利用可能だ。

当協会研修センターでは、無料体験講座と養成講習の説明会を随時開催。産業カウンセラーとのダブルライセンスの合同説明会も各地で開催しているので、気軽に参加してみれば大丈夫。

検索
カウンセラー協会 関西支部

関西支部 日本産業カウンセラー協会 一般社団法人

